

松茸はまだなのか？号

月刊ブル通信

1509

これが日本の正しい
さんまの食べ方なのだあ！

ということとで本格的な秋もすぐそこ。秋と言えば色々な味覚があるがやはりサンマでしょう。さんまをつまみに昼間からビールでちよつと一杯なんてやってみたり。で、どうせ食べるならガスレンジで焼くんじゃなくて七輪が何かで炭でおいしく焼いてビールをぶつくん。って考えただけでたまらない。で、調べちゃいましたね。七輪でおいしくサンマを焦がさず塩焼きにするポイント。みなさんもぜひ、さんまの横にこの通信をおいて読みながら焼いてみて下さい。

まずサンマの選び方は下あごの先が黄色く、目が透明感があるサンマがいいらしい。しかしながら濁った眼のサンマというのもどういうものかわからないのでちよつと自信がないがとにかく澄んだ瞳のサンマを選ぶのだ。特に一本釣りのサンマというのは網でとったサンマに比べるとウロコを飲みこまないののでワタが甘くほろ苦くうまいらしい。このあたりネットで調べて買ったほうが多少高くても確実なものがえらべるかもしれない。

編集発行人 ブル
ブル通信は発行人が
ブルドッグの様な
顔をしているので
ブル通信としました。

ブル通信は
過去に...

ガッツのお車の
ご購入
ご売却
車検
修理
査定
見積もり

の
どれかをご利用頂いた
お客様に
お送りしています。

で、さあいつちやいますよ。七輪の炭はよく起しておくと必要があるみたいだが量は半分で充分らしいよ。炭を火箸で片側に盛り上げて寄せておくらしいよ。で、焼き網をのせてしっかりと網を熱くしておく。で、さんまは新聞紙に載せてキッチンペーパーで丁寧に水分を拭き取っておく。
で、次がまたポイント。高いところから粗塩をまんなべんなく振りかけるらしいが、この高い所というのが地上30メートルくらいなの30センチくらいなのか正確な説明がないのでよくわからないうにかく高い所なのだ。高い所から粗塩をまんなべんなく振りかけるのだ。で、焼き網に刷毛で酢を塗るらしい。皮が焦げ付きにくくなるらしいよ。で、七輪の焼き網の炭を寄せて空いている底に炭のない部分でじっくり焼き上げるらしいよ。これ、油が落ちてても下に炭がないから余計な炎や煙が上がりませんということみたい。ゆっくり焼いて時々軍手をして焼き網を持ち上げて網の下から焼き加減を確認してきれいな焼き目がついたら網をそつとそつと振って身をそつとはがす。でサンマをゆつくりと返す。これを繰り返してまんべんなく焼き上げる。というこ

よくある失敗は炭がぐうぐうと燃えている焼き網の上にサンマを載せたりとか焼きあがつていないのにひっくり返そうとしたりすると焦げた皮が網から外れず身がむき出しになるみたい。ポイントのは炎を上げず、ゆっくり焦らず焼き上げる。そして焼きあがつたサンマをお皿に移し、水をよく切った大根おろしを載せてゆず醤油かなにかをポタリ、ポタリ。うー秋の天気の良い休日なんかはこんなやり方でサンマ焼いてビール飲んだらもうあの世に行ってもいいかもしれない。たまらんでしょ。

逆走車事故被害を未然に防ぐには？

いやあ、本当に恐ろしかったですよ。逆走車。ついに出会いましたよ。高速道路ではなく一般国道のバイパスだったんですが本場にびっくりしました。でもあれが高速道路だったら大事故になっていたかもしれないです。自分が逆走車に出会ってみてそこから気がついた逆走車の事故に巻き込まれないための予防策、考えてみました。

えーとですね。僕の場合は中央分離帯で仕切られた片側2車線の国道のバイパスを走っていたんですけど、それである程度大きな交差点の手前付近で左側車線をゆっくり走っていたんですけど、100メートルくらい先の信号が赤だったんです。交差する道路の信号は当たり前ですけど青。青信号に従って侵入してきた軽トラが本来左折すべきところを左折せず、こちら側の車線を左折して走ってきたわけですね。

つまり僕から見ると追い越し車線ですね。軽トラから見ると一応走行車線という事になります。まだ

一般国道でしかも僕は走行車線だったから衝突せずに済みましたが、高速道路での逆走事故、ちよつと調べてみるとそのほとんどが通常の走行でいうところの追い越し車線を逆走してくるみたいなんです。つまり、自分では走行車線と信じて走ってくるわけですね。これ計算してみると仮に双方が時速100キロで走っていた場合、200メートル先に逆走車を発見したとして、衝突までの時間は4秒しかないわけですね。うまく200メートル見渡せればいいですが、たまたまカーブだったりしたらもう完全アウト。

以前にもトンネル手前の右カーブで追い越し車線を走っていて走行車線に戻りトンネルに入った途端、理由はわかりませんがパジエロミニが横向いて（たぶんスピンしたんだと思いますけど）追い越し車線で止まっていたのであの時、走行車線に戻らなかつたらと思う、ぞつとしたことがありました。

そんなことを総合して考えてみるとにかく逆走車は高速道路の場合、インターチェンジから逆走して入ってくるのが最も多いわけですから予防策としてはインターチェンジ付近ではとにかく走行車線を走る。追い越し車線には入らないというのが最も危険を回避できる予防策ではないでしょうか。インターチェンジから入った逆走車が相当距離を走った場合、高速道路などにある電光掲示板に逆走車注意などが出るはずだと思っんです。僕自身一度見たことがありません。逆走車に出会ったことがある人は少ないと思います。が実際に会ったことがある人は少ないですよ。僕はもう怖いんでインターチェンジ付近では走行車線を走るようにするつもりです。

以上、人から聞いた話を我が事のように書かせていただきましたが、怖いですね。謙虚に走行車線を走ろうっと。